

朝見地区防災の取り組みを取材

平成17年第1回防災訓練の時から速やかな救出が行えるようにと町内の重機を持つ事業所に対し「災害時協力企業」として協定を結んで、東海地震等の災害に備えて来た。今回、鳥取NHK支局の企画による、災害対策の空白を埋める取り組みとして紹介。

あさみ会報



朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町 209-4
朝見地区市民センター内 電話 0598-52.0007

2011.02.24 発行
第30号

NHK番組

「クローズアップ現代」で放映。

平成23年2月17日(木) 19時30分より“災害対策空白地帯”その対応として、全国版として、朝見の“災害時協力企業”の取り組みが大きく紹介された。

PCで番組の閲覧が出来ます。検索 クローズアップ現代⇒番組検索⇒平成23年2月

住民協議会で「防災ネットワーク」を！

同じく、2月4日(金) 東部中学校管内の住民協議会が、災害時協力に付いて「防災ネットワーク」を作ろうと協議がされた。



上 住民協議会(朝見・掬水・漕代・機殿)で、防災ネットワークの協議を取材する。(H23年2月4日)
右横 下 NHK 鳥取支局の取材風景。(H23年2月6日)

番組の内容
各地が記録的な大雪に見舞われるなか、「除雪作業の遅れ」による市民生活の混乱が目立っている。原因のひとつが、除雪や土砂の除去など地域の災害復旧を担う建設業者が、長年の建設不況で疲弊していること。自治体と「災害協定」を結ぶ全国の建設業者の数は、この10年で3分の2に激減、災害対応に必要な重機を自社で保有する業者も減っているのだ。12月には全国建設業協会が国交省に「除雪の遅れは氷山の一角。全国で「災害対応空白地帯」が生まれている」と業界への支援を訴えた。こうした中、石川県七尾市では、この冬から重機を市が直接リースするなど2億円をかけて建設業者の負担を減らす対策を始めた。その一方で住民組織が農家などの所有する重機をリースアップし建設業者だけに頼らない防災態勢を作ろうという地域も現れた。これまで建設業界が担ってきた「災害対応力」が揺らいでいる現状と、今後について考える。(NHK HPPより転記)



災害時協力企業(事業所)の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》

(大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社・さくらテラス (古井) 有限会社松井工務店・榊産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木為郎農産・尙橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

- ①平成22年度「6年生を送る会」元気に巣立て朝見っ子!
- ②朝見幼稚園餅つき大会。みんなで餅つきペッタンコ、ぺったんこ!
- ③第3回祓川シンポジウムにゲスト参加の朝見小「さかな救出作戦」
- ④津市辰水地区自治会長兼自主防災隊長が視察研修に訪れる。
- ⑤朝見図書文庫贈本「ありがとうございました!」
- ⑥立田町花壇に花いっぱい! 地域環境部会の花いっぱい運動。
- ⑦朝見小児童が花いっぱい運動! みんなで考えみんなで育てて朝見全戸に届ける。



ありがとう育てた「パンジー」を頂く



美味しかったちらし寿司

①卒業を目前に、6年生を送る会開催!
平成23年2月22日(火)朝見地区市民センター会議室にて開催。卒業を祝うと共に元気に育つ朝見っ子を励ます。本年は14名が小学校を巣立ち、東部中学校に進む。式では、寿会のメンバーが手作りの「ちらし寿司」「味噌汁」を食べる。小学校時代の思い出が、スライドで映し出される度に、思い出に花が咲く。6年生から、自分たちが育てた花「パンジー」植えを手渡した。松本校長は、どこにもない真心の送る会です、この真心を大切に育ててほしいと述べ、「いつまでも朝見で育ったことを大切にしてください。これから、未来に向かって大きく羽ばたいて下さい。」と、励ましの言葉を贈る。



もらった記念品



ありがとうとお礼の言葉



ひとり一人餅つきをする

②恒例の朝見幼稚園餅つき大会!開催する。
平成22年12月16日(木)9:00、開催される。毎年、寿会の代表のメンバーが幼稚園児と楽しく開催する。園児ひとり一人が杵を持って、みんなの掛け声とともにペッタンペッタン!自分たちがついた餅が「あんころ餅」「きな粉餅」にしてもらい、美味しく食べた。お礼にと園児手作りの「松ぼっくり」を、きれいに装飾して記念品として寿会のメンバーに贈る。

《講堂・祓川シンポジウム》
明和町立下御系小学校、上御系小学校、齊宮小学校、漣代小学校とともに、「水辺の生きものの調べ」の活動報告をする。



漣代小学校の発表



パネルの前で取材に応じる

③第3回祓川シンポジウム朝見学校が、ゲスト参加「魚救出作戦」の活動を発表。
平成23年2月19日(土)齊宮歴史博物館 講堂13:00、開催された。《エントランスホール》
こともほら川展が開催、各小学校の取り組みがパネル展示されていた。その一角に、昨年本年と小学校、地元住民朝見まちづくり協議会の魚救出作戦(さかなの保護、放流)の取り組みを展示。3年生の海住、野中さんが、パネルの前で説明、取材にも元気に応じていた。



防災について質疑応答の自治会長のみなさん

④辰水地区自主防災会が朝見を視察研修!
実戦的訓練に質疑応答!
平成23年2月3日午前10時から朝見地区市民センターにて開催。視察研修には、家所区、穴倉区、高座原、日南出、船山、長谷川ハイッ自治会長兼自主防災会会長6名の方が参加された。始めに、スライドにて防災の取り組みを説明。なぜ防災訓練に取組むようになったか!実戦的防災訓練とはどのような活動なのか!倒壊家屋からの救出訓練や災害時協力企業との協力協定、ゲームを取り入れた楽しい訓練、子ども達との防災訓練など、朝見の特長的な取り組みを紹介。また、防災講演の開催、神戸、京都、淡路などへの視察研修を説明する。質疑、意見交換では、相互の環境や地域の特性を語り合った。

⑥町に花いっぱい運動!立田町花壇に花いっぱい!
3年前から、地域環境部会の環境美化運動の一環として始められました。朝見花いっぱい運動として立田町に花壇を設置しています。以来、毎年四季折々、色々なお花が植えられて来ました。町内を花で和やかな町づく



頂いた本、約200冊

⑦朝見小児童が花いっぱい運動
今年以上に、朝見小学校の児童が6,000株ものパンジーを育てました。みんなで朝見地区を、花いっぱいにしたいと下校時に配っています。自分たちが育てたパンジーを、一株一株鉢に植え替え、手紙を添えて贈っています。これから春に向けて各家庭で真心のこもったパンジー住民を包んでくれます。小学校の皆様!ありがとう!



放課後、大切に育てて下さいと花と届ける

り、世古且守さんが管理、手入れをして頂いています。昨年夏の猛暑にも、日陰を作り、水をやりをして優しく育ててもらいました。(立田町花壇に植える)



り、世古且守さんが管理、手入れをして頂いています。昨年夏の猛暑にも、日陰を作り、水をやりをして優しく育ててもらいました。(立田町花壇に植える)